

蟹のカノン

小湊 奈美子

本書に収録した図は、一般的には
「詰将棋」にあたるものです。

例題 その1

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
							龍		七
							馬		八
								王	九

持駒 金金金

例題 その2

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
							卒	卒	六
						銀		王	七
								入	八
					龍				九

持駒 金金

第 1 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						銀		皇	一
						雫		王	二
							爵		三
							傘	歩	四
									五
									六
								桂	七
									八
								香	九

持駒 飛飛

第 2 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
								我	二
						我			三
									四
						玉		王	五
							桂		六
									七
							桂		八
									九

持駒 角角歩

第 3 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							角		五
							驥		六
								王	七
									八
				龍	角				九

持駒 銀銀

第 4 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							皇		一
							飛		二
								王	三
							卒	王	四
								卒	五
									六
							香		七
									八
									九

持駒 銀銀桂

第 5 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
							銀		三
									四
						入			五
								王	六
			龍						七
						桂	歩		八
									九

持駒 金金

第 6 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					角				一
						王	銀	王	二
						角			三
									四
						入			五
						龍			六
									七
									八
									九

持駒 桂桂

第 7 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王		一
						馬		皇	二
						卒			三
							角	驥	四
							香		五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀銀

第 8 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王	皇	一
				金		卒			二
						馬			三
									四
				角		桂			五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀銀

第 9 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
						と		傘	三
								王	四
						護	科		五
				角				歩	六
									七
								香	八
									九

持駒 桂桂

第 10 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
								科	王	一
				龍	銀				皇	二
					傘					三
					護					四
										五
							桂			六
										七
										八
										九

持駒 角角

第 11 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							歩	王	歩
							歩	歩	金

持駒 桂

第 12 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	
							馬	香	
							銀	飛	金
							角	歩	笛

持駒 金

第 13 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
		角			飛				四
			王	王					五
			馬			桂			六
									七
						角			八
									九

持駒 桂香香

第 14 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							馬	王	五
								王	六
							馬		七
								桂	八
						香	銀	香	九

持駒 金金

第 15 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							と		一
				傘	王	歩			二
				驥					三
				香	歩		銀		四
					香				五
									六
									七
									八
									九

持駒 角角

第 16 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
						皇		皇	三
							傘		四
								王	五
					龍			傘	六
							歩	桂	七
									八
									九

持駒 金金

第 17 番

									一
									二
									三
									四
									五
									六
		入	護	皇	入				七
		飛				龍			八
			金	王					九

持駒 銀銀

第 18 番

									一
									二
							飛		三
				玉		金			四
						護			五
						王			六
						笛			七
						香	香		八
									九

持駒 金金

第 19 番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
			入	皇		入			四
			科	王	步				五
				驥					六
		龍	卒						七
	角					桂			八
									九

持駒 金金

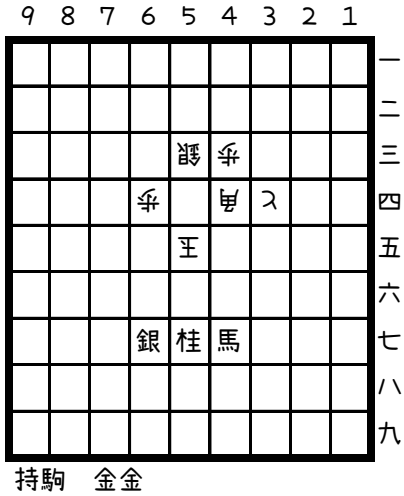
第 20 番

9 8 7 6 5 4 3 2 1

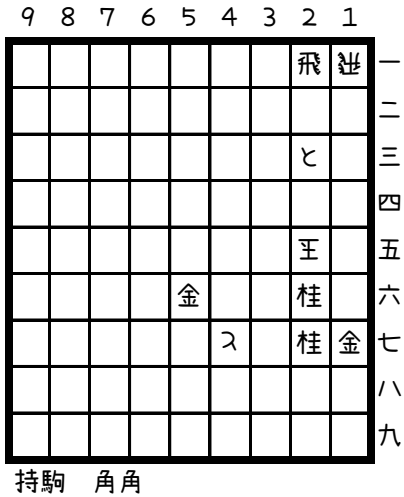
									一
									二
			馬		皇				三
			銀	銀					四
				王					五
				駒					六
				金	香				七
				香	入				八
									九

持駒 金金

第 21 番



第 22 番



第 23 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
							桂		二
				馬					三
					王	銀			四
				入			銀		五
			銀				馬		六
									七
									八
角				桂					九

持駒 金金

第 24 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
	玉		入					桂	四
歩									五
王		馬			角			飛	六
卒	卒	卒							七
									八
									九

持駒 金銀銀

第 25 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
							笛		四
	飛	馬	蹠	王	銀				五
		桂	桂		蹠				六
									七
									八
									九

持駒 金金

第 26 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
	玉		と			車			二
		龍		皇					三
				王					四
			車		卒	桂			五
					笛				六
									七
	角								八
									九

持駒 金金香

第 27 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
				我		角			二
			変		飛				三
									四
		驥	桂	王					五
				入					六
				桂					七
				桂					八
									九

持駒 金金

第 28 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
						歩	歩		四
								変	五
								王	六
							歩		七
								金	八
								香	九

持駒 金金

第 29 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
					馬		車		二
					王		卒		三
			と		車	飛			四
						角	舘		五
						飛			六
						香			七
									八
									九

持駒 なし

第 30 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
							馬	車	二
					車	銀	車		三
					王				四
						卒			五
					香	舘			六
									七
									八
									九

持駒 角金金

第 31 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
飛	笛				傘	我		皇	一
				傘	王		と	飛	二
									三
					と	笛			四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂桂

第 32 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
				皇					二
角		銀							三
					と				四
	飛	金	皇	王	銀				五
									六
						又			七
				歩					八
									九

持駒 金金

第 33 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			皇					皇	一
			笛		飛				二
					金				三
		金	王	皇	金		飛		四
									五
				歩	入				六
			玉	桂					七
									八
									九

持駒 桂桂

第 34 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
			角		傘	皇	皇		四
							王		五
					歩		傘		六
				金	桂		入		七
				角					八
					銀				九

持駒 金金

第 35 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							卒		一
					卒		王	卒	二
								卒	三
						香			四
					香	桂	歩	歩	五
						香			六
						香			七
									八
									九

持駒 なし

第 36 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					王	卒			一
		覬	皇						二
		卒				金			三
			卒						四
					桂				五
					香				六
					香				七
									八
									九

持駒 角角

第 37 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
				銀					四
				卒					五
		馬	卒	王	卒				六
龍			入					玉	七
			香		歩	桂			八
									九

持駒 金金香

第 38 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			皇		科		飛		一
				金					二
		卒				笛			三
			科	王	卒				四
				卒					五
				角					六
				桂					七
									八
									九

持駒 金金

第 39 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
							桂		二
			皇	角		桂	卒		三
			龍		と		王		四
									五
				入	入	入			六
						馬	角		七
									八
									九

持駒 金金

第 40 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
							卒	入	三
				入		王			四
			角		歩		卒		五
					銀				六
									七
						桂			八
									九

持駒 飛飛香

第 41 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
					と	と		皇	四
					ス		王	ス	五
						将			六
						銀	銀	銀	七
					皇			玉	八
					飛				九

持駒 桂

第 42 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					将				一
								皇	二
									三
					と	ス	王	ス	四
								ス	五
					ス		龍		六
						ス	龍		七
							香	馬	八
									九

持駒 香

第 43 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
				銀	皇	我			二
				銀	我				三
				王		護			四
			我			馬			五
							飛		六
			桂		玉			馬	七
									八
									九

持駒 なし

第 44 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
		角	卒			銀			三
			入	皇	皇				四
		入		王	入				五
									六
				卒					七
			龍		香				八
					桂				九

持駒 金金歩

第 45 番

										一
										二
										三
										四
			笛			銀				五
					皇	母				六
										七
			龍	と			王	銀		八
									又	九

持駒 金金金金

第 46 番

										一
										二
				笛						三
				傘			龍			四
		又			王					五
飛	銀				傘	又				六
			桂	謁						七
										八
				桂						九

持駒 金金銀銀

第 47 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
				角	歩	歩			六
			角	歩		入	歩		七
				と				歩	八
				馬		王		入	九

持駒 金金金金

第 48 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
				笛		歩	と		五
			龍		金		歩		六
							王		七
				入	桂			入	八
						銀	馬		九

持駒 金金銀銀

第 49 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							飛	王	一
					皇	車	車	王	二
						桂			三
					車		車		四
							歩		五
						龍	桂		六
									七
									八
									九

持駒 金金

第 50 番

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
					角				二
					皇				三
				入	入		車	車	四
					車				五
				飛	と				六
						入	王	馬	七
						入	入	入	八
									九

持駒 金金金金銀銀

番外 第 1 番

									一
									二
									三
									四
									五
			銀						六
				玉		角			七
					王				八
			銀	王		角			九

持駒 銀 (全=成銀)

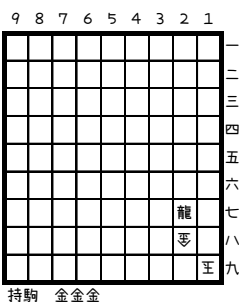
鏡詰
王手を掛けた駒の性能は、
王手を掛けられた玉は、
性能になる。

番外 第 2 番

									一
									二
									三
									四
				銀					五
				銀					六
				銀		玉			七
						金			八
			金	王					九

持駒 なし

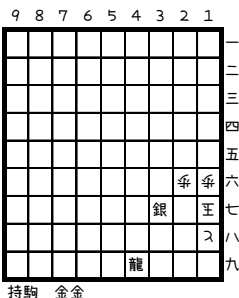
この駒は、
最も近い位置に取られた駒は、
戻れない。戻れない時は、
キルケ詰



例題 その1

18金 同金 29金 同金 18金 まで5手

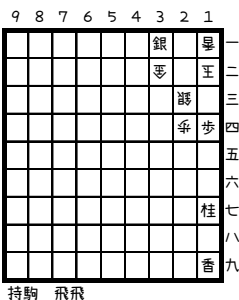
誰が最初に見つけたかは分かりませんが、かなり古くから知られた図だと思います。でも、その頃は棋譜の表記が違ったので、こんなことは考えなかったでしょうね。



例題 その2

28金 同と 19龍 同と 28金 まで5手

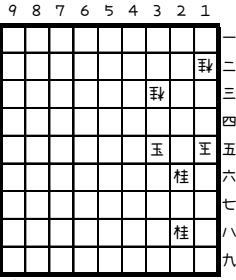
玉以外の駒を動かす基本的な図という意味で、例題としては前の図よりも適しているかも知れません。手順前後の可能性がなく、攻方は安い駒しか取れないので、検討が楽な構成になっています。



第 1 番

22飛 同金 13歩成 同金 22飛 まで5手

質駒作りの初手から、両王手を含みにした歩成で、3手目は実質的にはヒモ付き捨て駒になっています。検討用紛れはあっても、解くだけ易しい図です。

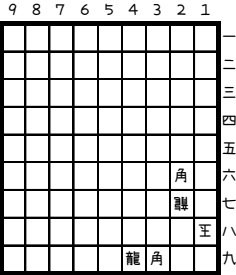


持駒 角角歩

第 2 番

24角 同桂 16歩 同桂 24角 まで5手

初形を少し可愛くしてみました。狙いは「変化なし・紛れなし」の、いわゆる一本道詰将棋です。まじめに取り組んだ訳ではないのですが、この図が一番スマートだと思います。

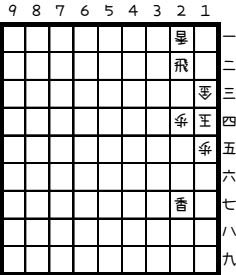


持駒 銀銀

第 3 番

19銀 同玉 28角 同玉 19銀 まで5手

飛角図式が狙いです。手順の限定性を考えると、駒数の少ない図は創作が難しいと思います。特に飛角図式に限れば、この図の他に（変化同手数や非限定がない）完全作がないように思いますが、いかがでしょう。



持駒 銀銀桂

第 4 番

25銀 同歩 26桂 同歩 25銀 まで5手

位置をずらす目的で、玉方の駒を同一方向に進めていくのは、手順前後を防ぐだけなので易しいです。この図の場合では、初手26桂が効かないのは明らかですね。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
								銀	二
									三
							ス		四
								王	五
									六
						龍			七
							桂	歩	八
									九

持駒 金金

第 5 番

26金 同と 17龍 同と 26金 まで5手

質駒作りの初手で、例題からの発展形になります。詰将棋らしい手順が作りやすくなりますが、それは捨駒が捨駒らしく見えるせいもあるでしょう。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						角			一
						我	銀	王	二
						角			三
									四
							ス		五
							龍		六
									七
									八
									九

持駒 桂桂

第 6 番

24桂 同桂 16龍 同桂 24桂 まで5手

2段桂ハネは、どうしても変化が薄くなりがちなので、少し色をつけてみたものです。2手目23玉は32角成以下で、初形の龍の位置にも意味ができました。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
							我	皇	二
							垂		三
								龍	四
							角		五
							香		六
									七
									八
									九

持駒 銀銀

第 7 番

22銀 同玉 13角成 同玉 22銀 まで5手

玉を引き出して一直線の両王手という構成です。余詰防ぎは色々と置いているのですが、実質は一本道でしょう。

ちなみに、3手目は成と不成の非限定です。限定にしたいければ24を馬にすればよいのですが、あえて角のままとしてみました。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王	桂	一
					金		歩		二
								銀	三
									四
					角		桂		五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀銀

第 8 番

32銀 同銀 33桂不成 同銀 32銀 まで5手

詰将棋らしさを狙ってみた初期の作ですが、小さくまとまったのが唯一のとりえです。11飛は、3手目13桂を防ぐ配置になっています。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
							と	歩	二
								王	三
							銀	桂	四
								歩	五
						角			六
									七
									八
									九

持駒 桂桂

第 9 番

26桂 同銀 16歩 同銀 26桂 まで5手

いくつか作ってみて気付いたのですが、5手詰で玉方の駒を動かすのは、機構としてはあまりバリエーションがないみたいです。視覚的にはマンネリ間を避けようとしていますが、この形での歩突きなどは、困るとつい使ってしまいます。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
								銀	二
					龍			桂	三
								歩	四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角角

第 10 番

22角 同玉 31銀不成 同玉 22角 まで5手

12香と21桂を置いた、実戦型が狙いです。実戦型というと、桂香をいかに捌くかが一つの好作の基準ですが、どうやら意味を持たせるだけで精一杯という内容になってしまいました。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						傘	王	傘	一
						夢	夢	金	二
						歩	歩	金	三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂

第 11 番

22金 同金 13桂 同金 22金 まで5手

初型が形になっているものを、一つは作ってみようと思いました。仕上がりとしては初手を駒取にした点など安易ですが、小駒図式にしてなんとか誤魔化しているつもりです。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
								王	五
						諷	香	飛	六
						銀	飛	金	七
						角	歩	管	八
									九

持駒 金

第 12 番

17金 同玉 18飛 同玉 17金 まで5手

前の図と表裏で、詰上がりか形になるものを作ってみました。本当は同じ形にして並べたかったのですが、意外とうまくいきません。

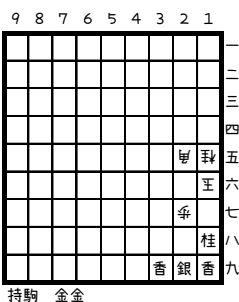
9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
		角			飛				四
		夢	王						五
		諷			桂				六
									七
							角		八
									九

持駒 桂 香 香

第 13 番

56香 同金 47桂 同金 56香 まで5手

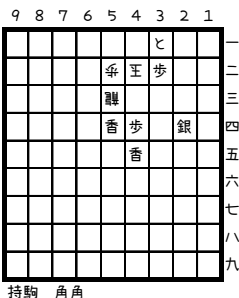
大駒を3枚使っていますが、持駒の使い道がないせいで、ほとんど紛れがない図になっています。角を2枚使うせいか、詰め上がりが重くなってしまうのが難点です。



第 14 番

17金 同玉 26桂 同玉 17金 まで5手

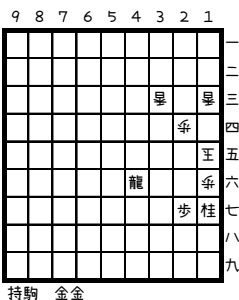
特徴がある訳ではないのですが、初めて発表した作品なので収録してみました。
初手26桂に対して17に捨合をして逃れるのが、唯一のとりえです。



第 15 番

33角 同龍 43歩成 同龍 33角 まで5手

いくつも類型が作れるパターンのひとつです。それなら、収録することもないと言われそうですが。
角を2枚持っているので、それなりに検討用紛れはありますが、かなり易しい部類です。



第 16 番

25金 同歩 26龍 同歩 25金 まで5手

基本形そのままですが、いくぶん雰囲気を変えてみたつもりです。
とはいつても、4手目に逃げる可能性があるというだけの違いですので、新味という程ではありません。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
		ス	馬	皇	ス				七
		飛					龍		八
			金	王					九

持駒 銀銀

第 17 番

58銀 同銀不成 59金 同銀不成 58銀
まで5手

玉方の連続銀不成が狙いです。駒数を減らす方針で飛と龍を置いたので、詰上がりにも重複感が残るのが難点になっています。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
								飛	三
				玉				金	四
								馬	五
								王	六
								筆	七
								香	八
									九

持駒 金金

第 18 番

26金 同銀 15金 同銀 26金 まで5手

邪魔駒消去のパターンのひとつです。逆王手を利用すると、紛れを少なく作ることができることが分かって、一時期はたくさん作りました。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金金

第 19 番

46金 同龍 66龍 同龍 46金 まで5手

見かけだけでなく、中身も普通の詰将棋っぽくなってきたのでしょうか。

77龍の邪魔駒消去ですが、初手や3手目の76龍とケチると、77桂成で逃れるようになっています。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
			馬		皇				三
			馬	銀					四
				王					五
				謀					六
				金	香				七
				香	ス				八
									九

持駒 金金

第 20 番

65金 同銀 56金 同銀 65金 まで5手

邪魔駒消去の基本形といえるものです。初手を省くと65が埋まらないという意味なので、余詰防止駒も少なくて済みますが、3手目の67金を防ぐ駒(48と)だけは省けません。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
				謀	垂				三
			垂	馬	ス				四
				王					五
									六
			銀	桂	馬				七
									八
									九

持駒 金金

第 21 番

45金 同と 56馬 同と 45金 まで5手

移動しようとする場所に質駒を作るパターンも、常套手段のひとつです。この図は、あるイベントでドサクサ紛れに作ったのですが、内容はまあまあかなと思っています。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								飛	一
									二
								と	三
								王	四
				金				桂	五
					ス			桂	六
								金	七
									八
									九

持駒 角角

第 22 番

14角 同飛 24と 同飛 14角 まで5手

手順の構成が似ているものをいくつも収録していますが、意味付けを幾らか工夫してみました。紛れたときの逃れ方は一貫しているので、駒配置で悩むところはありませんでした。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九
角									

持駒 金金

第 23 番

45金 同と 55銀 同と 45金 まで5手

攻方銀の邪魔駒消去ですが、玉方と金を残す意味を、少しひねってみました。
角は99配置に必然性がありますが、4銀配置には特別な意味はありません。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金銀銀

第 24 番

85銀 同銀 86金 同銀 85銀 まで5手

ややこしい形にはしていますが、意味するところは例題と同じです。
銀で、この動き方を作ってみたのですが、意外にも難渋して、こんな図になってしまいました。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金金

第 25 番

56金 同銀 65馬 同銀 56金 まで5手

馬の邪魔駒消去が狙いですが、さっき似たような図をお見せしましたね。
この図の場合は、4手目の変化が両王手の詰なので、玉方の壁になる駒が少なくて済んでいます。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	玉		と				我		一
		龍		皇					二
				王					三
			我		糸	桂			四
					筆				五
									六
									七
	角								八
									九

持駒 金金香

第 26 番

44金 同桂 56香 同桂 44金 まで5手

桂の2段ハネは技が掛けにくいと思っているのに、何となく手がいってしまいます。意味付けに少しこだわってみました、いかがでしょうか。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
				我		角			二
			香		飛				三
		駒	桂	王					四
				入					五
				桂					六
				桂					七
									八
									九

持駒 金金

第 27 番

54金 同金 45飛成 同金 54金 まで5手

基本的な図を90度回転して、金を斜めに誘う図にしてみました。気分は変わりますが、こちらの方が駒配置は効率が悪いです。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
						糸	糸		四
								香	五
								王	六
								歩	七
								金	八
								香	九

持駒 金金

第 28 番

26金 同金 17金 同金 26金 まで5手

小駒図式の中では、比較的うまくまとまった図です。変化に備えて香を14に通す意味ですが、他に手がある訳でもないですから、感触が全てといったところです。

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						馬	飛	一
						王	飛	二
			と			飛	角	四
							角	五
							飛	六
							香	七
								八
								九

持駒 なし

第 29 番

23飛成 同玉 14角 同玉 23飛成 まで5手

着手に工夫を入れ始めた初期の図で、初手が「成」という手順で作ってみたものです。飛か角を直線上に並べるしかないので、手順としては平板になってしまいます。

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							馬	一
						飛	銀	二
						王		四
						飛	角	五
						香	馬	六
								七
								八
								九

持駒 角金金

第 30 番

24金 同桂 16角 同桂 24金 まで5手

なかなか懲りない桂の2段ハネですが、この手順は普通の詰将棋でもみかけますね。でも、そんな作品はきっと、持駒3枚の5手詰ではないでしょう。

9	8	7	6	5	4	3	2	1
飛	馬					飛	馬	一
						王	と	二
								三
						と	馬	四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 桂桂

第 31 番

54桂 同馬 32と 同馬 54桂 まで5手

玉方の駒を大きく移動させてみました。金銀が取れないので紛れるところはありませんが、3手目の作り方の関係で余詰消しが2枚必要になってしまいました。

9 8 7 6 5 4 3 2 1

				皇					
角		銀							
					と				
	飛	金	王	王	銀				
							入		
					歩				

持駒 金金

第 32 番

55金 同角 65金 同角 55金 まで5手

金の邪魔駒消去が狙いです。
角を残す意味はありきたりで、配置もスッキリとはいきませんでした。

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									皇
			皇			飛			
			單			金			
		金		王	王	金	飛		
				歩	入				
			玉	桂					

持駒 桂桂

第 33 番

66桂 同角 44金寄 同角 66桂 まで5手

やはり金の邪魔駒消去です。
双玉にして初手の紛れ手順は簡単になりましたが、3手目の紛れは少し面白いと思います。

9 8 7 6 5 4 3 2 1

			角		傘	皇			
						王			
						歩	傘		
				金	桂		入		
					角				
						銀			

持駒 金金

第 34 番

26金 同玉 25桂 同玉 26金 まで5手

変化に幅を持たせる動機で、手順を組み立てていったものですが、予定とはかなり違っていました。
結局は、変化の35歩以外に、これといった狙いがありません。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						香		香	一
						王		香	二
								香	三
							香		四
						香	桂	歩	五
							香		六
							香		七
									八
									九

持駒 なし

第 35 番

33香成 同玉 23桂成 同玉 33香成 まで5手

桂香歩だけで作る「うぐいす図式」です。
飛角図式の時もそうでしたが、うぐいす図式もほとんどバリエーションがありません。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						王	香		一
		馬	銀						二
		香					金		三
			香						四
				桂					五
				香					六
				香					七
									八
									九

持駒 角角

第 36 番

52角 同玉 63桂不成 同玉 52角 まで5手

3手目の桂の不成が狙いです。
もっと簡単な構図でできるかと思っていましたが、5手詰では意外にも制約が多いように思いました。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
					銀				四
				香					五
		馬	香	王	香				六
									七
玉			香					玉	八
			香	歩	桂				九

持駒 金金香

第 37 番

48金 同金 59香 同金 48金 まで5手

駒数が多いので後半に収録しましたが、双玉の意味としては基本的な図になります。
変化に備えて67馬と66馬の両方を可能にする必要があるせいで、攻方の配置に重複感が残ってしまいました。

9 8 7 6 5 4 3 2 1

			皇		飛				
			金						
		香			玉				
			王	香					
			香						
			角						
			桂						

持駒 金金

第 38 番

53金打 同桂 65角 同桂 53金打 まで5手

「打」が入る手順を作ってみました。
狙いからしてマトモな図ができそうもないの
ですが、この図は中でも比較的マトモ
ということで収録しました。

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								飛	
			皇	角		飛	香		
			龍		と		玉		
					入	入	入		
							銀	角	

持駒 金金

第 39 番

25金 同と 24と 同と 25金 まで5手
25金 同玉 35と 同玉 25金 まで5手

変化同手数狙いです。普通の詰将棋では、
こんなものを狙いにする人はいませんね。
実現するだけで手一杯で、個々の手順や配置
には見るべきところはありません。

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								香	入
						入		玉	
			角		歩			香	
					銀				
								桂	

持駒 飛飛香

第 40 番

35飛 同と 26香 同と 35飛 まで5手

飛香を短く使う一貫性が狙いです。
初手や最終手はともかく、3手目にいくらか
詰将棋らしさがあると思います。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
						と	と	皇	四
						ス		王	五
							我		六
							銀	銀	七
							皇	玉	八
						飛			九

持駒 桂

第 41 番

26銀左 同と 37桂 同と 26銀左 まで5手

「左」が入る手順を作ってみました。
初手はともかく、最終手には異論があるかも知れません。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						我			一
								皇	二
									三
						と	ス	王	四
								ス	五
						ス			六
							龍		七
						ス	龍		八
							香	馬	九

持駒 香

第 42 番

33龍 同桂 45香 同桂 33龍 まで5手

超短編詰将棋らしい手順だと思います。
ただ攻方が強力過ぎるために、余詰消しが目障りなのが欠点です。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
						銀	皇	我	二
						銀	我		三
						王		謀	四
						我		馬	五
								飛	六
						桂	玉		七
								馬	八
									九

持駒 なし

第 43 番

44馬 同桂 56飛 同桂 44馬 まで5手

手順前後をすると逆王手になります。
超短編に双玉を持ち込む意味付けは、結局のところあまりバリエーションがないのかも知れません。

9 8 7 6 5 4 3 2 1

		角	歩				銀		
			入	馬	馬				
		入	王	入					
			歩						
			龍		香				
					桂				

持駒 金金歩

第 44 番

65金 同と右 56歩 同と右 65金 まで5手

玉方の手に「右」が入るものを作ってみました。

さすがにここまでくると、非常な無理作りというのが伝わってしまいます。

9 8 7 6 5 4 3 2 1

		笛				銀			
					馬	馬			
			龍	と		王	銀		
							入		

持駒 金金金金

第 45 番

38金 同玉 37金 同玉 47と 同玉 37金
同玉 38金 まで9手

9手詰では初期の図ですが、割りとうまくいったと思っています。

9手詰は、バリエーションを調べ尽くす程は作っていませんので、まだ面白いものがあるかも知れません。

9 8 7 6 5 4 3 2 1

				笛					
			歩				龍		
		入		王					
飛	銀		歩	入					
		桂	馬						
			桂						

持駒 金金銀銀

第 46 番

55金 同歩 56銀 同玉 65銀 同玉 56銀
同歩 55金 まで9手

玉方駒を動かすようにしてみました。形が広がった割りに、あまり紛れないものになってしまいました。

検討用紛れで散々だった覚えがあります。

9 8 7 6 5 4 3 2 1

				角	糸	糸		
			角	糸	入	歩		
			と				糸	
			舘	王			入	

持駒 金金金金

第 47 番

38金 同と 49金 同玉 48と 同玉 49金
同と 38金 まで9手

手順前後の綾もあり、詰将棋らしいと思いません。
持駒が金4なので自陣と金は仕方ないですが、壁のためだけの配置が多いのが図を重くしてしまっています。

9 8 7 6 5 4 3 2 1

				笛	糸	と		
		龍	金		歩			
						王		
			入	桂		入		
				銀	留			

持駒 金金銀銀

第 48 番

35銀 同歩 36金 同玉 46金 同玉 36金
同歩 35銀 まで9手

持駒が金と銀だけだと、どうしても単調になりがちなのですが、この図は初手が伏線的なのが気に入っています。
手順を組み立てて強引に作図する作風なので、面白い意味付けがなかなかできません。

9 8 7 6 5 4 3 2 1

					要	飛		
				皇	我	糸	王	
					桂			
				糸	我			
						歩		
					龍		桂	

持駒 金金

第 49 番

23金 同歩 24桂 同桂 16龍 同桂 24桂
同歩 23金 まで9手

またまた飽きもせず、桂の2段ハネです。
駒取りはできるだけ避けていますが、この図はあまりにも紛れが多くて無理でした。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金金金金銀銀

第 50 番

16銀 同玉 15金 同玉 25金 同玉 35と
同玉 25金 同玉 15金 同玉 16銀 まで13
手

作った中では一応、最長手順作です。
手順を思いつくよりも、強力な持駒による紛
れに苦労して、どうもこの駒数より減らせな
いという結論に至りました。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀 (金=成銀)

番外 第 1 番 (鏡詰)

68銀 同飛不成 48角上 同飛不成 68銀
まで5手

2手目に同竜とか同飛成とすると、57玉が龍
の利きになります。鏡詰としてはありふれた
不成ですが、成銀配置を解消できないのが残
念なところです。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

番外 第 2 番 (キルケ詰)

同金 同香成 同金 同龍 同金 同香成 同
金
まで7手

初形で王手がかかっているのので、初手は「同
金」というのが主張ですが、さすがにこま
でくると怒りを買ってしまうでしょうか。
5筋を下方向に詰めると形は良くなります
が、香と龍の順序を変えられないので、仕方
ありません。まあ、そういうつまらないこと
ばかりを気にしている訳ですが。

蟹のカノン (かにのかのん)

著者 小湊奈美子 (こみなと・なみこ)
発行日 2004年7月1日 初版
2013年10月1日 第7版
(だうんろーど版)
発行者 東京詰将棋工房
www.tsumekobo.org

Copyright by KOMINATO, Namiko
July 1, 2004 ☆ Oct. 1, 2013

